

---

# 令和3年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

令和3年3月8日

質問者（質問順）

- 1 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)
- 2 山 本 たかし 委 員 (自 民 党)
- 3 斉 藤 達 也 委 員 (自 民 党)
- 4 ふじい 芳 明 委 員 (立 民 フ)
- 5 竹野内 猛 委 員 (公 明 党)

港 湾 局



# 局 別 審 査

## 1 河 治 民 夫 委 員 ( 共 産 党 )

### 1 山下ふ頭の再整備について

- (1) 現時点における再整備事業の総事業費を移転補償費と基盤整備費に分けて伺いたい。また、2020年度末までの支出額について伺いたい。
- (2) 本市が行う基盤整備について伺いたい。
- (3) 基盤整備の見込額について伺いたい。
- (4) 再整備事業の進捗状況及び想定事業費との比較について伺いたい。
- (5) 令和3年度予算では6棟の移転補償契約を見込んでいるが、6棟とした理由について伺いたい。
- (6) 当初計画では2020年度までに何棟の移転補償契約の締結を見込んでいたのか伺いたい。
- (7) これまでに移転補償契約を締結した12棟の倉庫に係る移転補償費について伺いたい。
- (8) その内訳として、公共上屋処理費について伺いたい。
- (9) 再整備における民有地の扱い及びこれまでの調整状況について伺いたい。
- (10) 民有地に関する具体的な交渉内容について伺いたい。
- (11) 交渉が成立しない場合、再整備はどうなるのか伺いたい。
- (12) 港運会館の土地に係る使用許可の状況について伺いたい。
- (13) 今後の使用許可の期限について伺いたい。
- (14) 港湾計画の一部変更により、耐震強化岸壁の整備を新港8号岸壁から山下ふ頭2号岸壁へ変更した経緯について伺いたい。
- (15) 耐震強化岸壁整備の推進の観点から、既に港湾計画に位置付けられている大黒ふ頭4号から8号岸壁の整備を優先するのが普通ではないか。これはIR事業に関わるものではないかと考えるが、見解について伺いたい。
- (16) 既に港湾計画に位置付けられている大黒ふ頭の耐震強化岸壁の整備を優先すべきと考えるが、見解について伺いたい。

- (17) 既に大黒ふ頭における耐震強化岸壁の整備計画があったため、順序はそちらが優先されるべきと考えるが、なぜそうならないのか伺いたい。
- (18) 山下ふ頭2号岸壁の耐震強化及び臨港道路の新設整備事業について、総事業費及び本市の負担額について伺いたい。
- (19) 本市が負担する液状化対策費の見込額について伺いたい。
- (20) 山下ふ頭に新設整備予定の臨港道路はI R事業者にとって事業計画を立てる上で障害になると思うがどうか。募集要項にはどこにも示されていないが、どこに示されているのか伺いたい。
- (21) 港湾計画では臨港道路は直線だが、I R事業者の提案で線形を曲げることが可能なのか伺いたい。
- (22) I Rの事業条件書とはどのようなものか。何が記されているのか伺いたい。
- (23) 事業条件書を公表できない理由について伺いたい。
- (24) 事業条件書はいつ公表されるのか伺いたい。
- (25) 臨港道路は道路整備の計画だけなのか。その下に水道設備、下水道設備などの計画はないのか伺いたい。
- (26) 山下ふ頭開発基本計画の変更処置は取らないのか伺いたい。
- (27) I R事業者からは山下ふ頭開発基本計画に沿った提案が行われるのか伺いたい。
- (意見) 今、コロナ対策を最優先に取り組むべき時に、I R事業への力の入れ方は改めるべき。

## 2 働きやすい労働環境について

バス便の増発及びバスに補助席を設けるなどの対策を講じるべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 働く人たちが誇りを持てるよう、港湾局も努力して魅力のある職場にしていきたい。

2 山本たかし 委員（自民党）

1 令和3年度予算について

令和3年度予算における局長の所感について伺いたい。

2 横浜港の港勢について

(1) コロナ禍におけるコンテナ貨物取扱の状況について伺いたい。

(2) コンテナ貨物取扱の現状と今後の見通しについて伺いたい。

(3) 空のコンテナ不足への対応について伺いたい。

(4) コロナ禍における完成自動車取扱の状況について伺いたい。

(5) 完成自動車取扱の現状と今後の見通しについて伺いたい。

(要望) 完成自動車は横浜港の主力貨物であるため、世界的な取扱量の回復の流れに乗り遅れないよう、しっかりと対応していただくようお願いしたい。

3 完成自動車取扱の機能強化について

(1) 完成自動車取扱機能強化の必要性について伺いたい。

(2) 完成自動車取扱機能強化に向けたこれまでの取組と今後の展開について伺いたい。

(要望) 完成自動車取扱機能強化に向けた施設整備について、他港に遅れを取ることのないよう、しっかりと整備を進めていただくよう要望する。

(3) コロナ禍における支援について伺いたい。

(4) インセンティブ制度の概要と効果について伺いたい。

(要望) コロナ禍の急場を凌いでいただくとともに、利用者にとっても利用しやすい港とすることで、ハード・ソフト両面から、大黒ふ頭が我が国最大の自動車取扱拠点となるよう、しっかりとした着実な取組を要望する。

4 ロジスティクス機能強化について

(1) コロナ禍における倉庫事業の状況について伺いたい。

- (2) 臨海部にロジスティクス拠点を形成する必要性について伺いたい。
- (3) インランドデポの活用について伺いたい。
- (要望) インランドデポの活用により、効率的なコンテナ輸送が実現でき、脱炭素化にもつながるため、引き続きインランドデポの活用に向けた取組を進めていただきたい。
- (4) 倉庫で働く方々の「働きやすい環境づくり」に向けた考え方について伺いたい。
- (要望) 働きやすい場をつくるために、今後も倉庫で働く方々のご意見を伺いながら、ロジスティクス拠点の形成に取り組んでいただきたい。
- (5) 今後のロジスティクス機能強化の取組について伺いたい。
- (要望) ロジスティクスは、国際コンテナ戦略港湾横浜港の機能強化にとって、大変重要である。倉庫事業者の方々と連携しながら、着実な整備をお願いしたい。

## 5 コンテナターミナルの機能強化について

- (1) 船舶の大型化の状況について伺いたい。
- (2) 本牧ふ頭D5ターミナルの再整備のねらいについて伺いたい。
- (意見) 本牧D5ターミナルの再整備を進め、世界三大アライアンスの超大型船全ての寄港が可能となるよう大いに期待する。
- (3) 本牧ふ頭再編強化の今後の展開について伺いたい。
- (要望) 本牧ふ頭再編整備に当たっては、埠頭の利用者の声を十分に踏まえながら、しっかりと進めていただきたい。
- (4) 新本牧ふ頭の整備状況と今後の予定について伺いたい。
- (5) リニア中央新幹線事業のトンネル工事の見通しについて伺いたい。
- (要望) 新本牧ふ頭整備に当たっては、鉄道事業者や国としっかりと連携しながら着実に事業進捗を図っていただくようお願いしたい。
- (6) スカイウォークを活用した市民理解の促進について伺いたい。
- (7) スカイウォークへの海上からのアプローチについて伺いたい。
- (要望) アフターコロナの観光活性化のためにも、水上交通は大変重要である。観光船事業者等とも連携しながら、積極的に進めていただくよう要望する。

## 6 港湾における感染症対策について

- (1) 横浜港での事例について伺いたい。
- (2) 感染の疑いがある船員が乗船した貨物船への対応手順について伺いたい。
- (3) 停留期間中に停泊できる岸壁の確保について伺いたい。
- (要望) 停留期間中に停泊できる岸壁の確保について、早急に検討を進めていただきたい。
- (4) 関係機関との連携について伺いたい。
- (要望) 感染症対策においてもBCPは大変重要である。活発な議論を進め、早期に改訂を行っていただくとともに、引き続き、更なる安全・安心な港に向けて、感染症対策に取り組んでいただくことを要望する。

## 7 カーボンニュートラルポートについて

- (1) カーボンニュートラルポート形成のねらいについて伺いたい。
- (2) 包括連携協定を締結した実証事業の概要について伺いたい。
- (3) 連携事業における横浜市の役割について伺いたい。
- (4) 連携事業が横浜港にもたらす効果について伺いたい。
- (要望) 将来の水素社会を見据えて、他港に先駆けて必要な機能を備え、国際競争力の強化につなげていただきたい。
- (5) カーボンニュートラルポート形成の今後の展開について伺いたい。
- (要望) カーボンニュートラルポートの形成のために、横浜に集積する企業としっかりと連携するとともに、長期的・総合的観点に立ち、施策を体系化して戦略的に展開していただきたい。

また、このような取組により、脱炭素化の効果と同時に、防災機能の強化や、選ばれる港として国際競争力の強化にもつながるため、是非とも強力に推進していただくよう要望する。

地球温暖化対策が世界的な潮流となる中で、横浜港がその象徴として、他港に先駆けてカーボンニュートラルポートを形成し、我が国の2050年までの脱炭素化をリードする役割を果たすことを期待する。

### 3 齊藤達也 委員（自民党）

#### 1 横浜みなと博物館改修事業について

(1) 改修事業の概要について伺いたい。

(2) 体験型コンテンツの特徴について伺いたい。

(3) 改修スケジュールについて伺いたい。

(要望) 今後、4月22日に運行開始されるロープウェイ「YOKOHAMA AIR CABIN」とともに、新たな横浜の観光の目玉として、横浜みなと博物館の改修にもしっかりと取り組んでいただくことを要望する。

#### 2 横浜港の歴史を学ぶ取組について

(1) 横浜港から日本人が移民として海外に旅立った歴史を発信すべきと考えるが、見解について伺いたい。

(2) 横浜港の歴史をテーマとして施設をPRすべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 横浜港の歴史をテーマとして施設を一体的に紹介するガイドブックは、コロナ禍においても、感染拡大を予防して街を歩くために有効である。観光客の方々はもちろんだが、ぜひ、18区役所等と連携して、多くの市民が手に取れるように印刷を増刷して、各所に配布することを要望する。

(3) 回遊性向上に向けたインフラ整備について伺いたい。

(要望) ウィズコロナ、アフターコロナに向けて時機を逃さないよう、インフラ整備を着実に進めていただき、市民や観光客が横浜港の歴史に親しみながら、街歩きを楽しんでもらえるようしっかりと取り組むことを要望する。

#### 3 臨港パークについて

(1) 人工海浜の活用について伺いたい。

(2) 臨港パーク先端部の整備等に民間ノウハウを導入すべきと考えるが、見解について伺いたい。

(意見) 積極的に民間活力を導入して、魅力的で、市民に親しまれる場所となるよう期待する。

(3) スポーツに親しめる工夫をすべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 様々な方々が、気兼ねなくスポーツができる工夫をしていただきたい。

(4) パシフィコ横浜との一体化の効果について伺いたい。

(要望) 臨港パークとパシフィコ横浜を接続する本設デッキについて、ぜひとも着実に整備を進めていただきたい。

港湾局におかれては、ぜひ、自信と誇りをもって、この横浜の宝である港、歴史に敬意を表し、みなとみらい 21 地区の開発の総仕上げ、そして市民や観光客に親しまれる横浜港の最前線でしっかりと役割を果たしていただきたい。

#### 4 ふじい 芳 明 委員（立民フ）

- 1 カーボンニュートラルポートの形成を通じた水素エネルギー社会の早期実現について
  - (1) CO<sub>2</sub>発生量、使用電力量、フォークリフトの台数、大型トレーラーの運航台数等を把握されていない状況。最低限横浜市が管理や運営されている部分だけでもしっかりと把握した上で、液化水素の大量輸入を検討するべきと考えるが、見解について伺いたい。
  - (2) カーボンニュートラルポートはCO<sub>2</sub>発生量、使用電力量、機器の台数等の把握が重要であるが、しっかり把握していただけるのか伺いたい。
  - (3) ポテンシャルを有する本市の強みを活かし、水素受入基地の横浜市立地に向けて、国や神奈川県、関係企業等と連携しつつ、情報共有や立地条件の整理、関連計画への位置づけ、導入策の検討等を進めるべきと考えるが、見解について伺いたい。
  - (4) 横浜市の担う役割と横浜港独自の計画提案について伺いたい。
  - (5) CO<sub>2</sub>フリーの風力発電により製造した低炭素水素の今後の取組について伺いたい。
  - (6) 水素事業を広めるためや水素のコストを下げるために本市としての積極的な利活用について伺いたい。
  - (7) ガス自体の脱炭素化について伺いたい。
  - (8) 水素やアンモニアの輸入拠点化が果たす役割と今後の展開について伺いたい。
  - (9) 本市のカーボンニュートラルポートの水素発電設備の検討方法について伺いたい。
  - (10) 港湾局としてガソリン車への入場料設定等の積極的な政策導入について伺いたい。
  - (11) 水素を供給するための既設設備の利用についての検討方法について伺いたい。

- (12)水素ステーションや水素供給を担う設備の能力の検討方法について伺いたい。
- (13) 横浜市自身が設備の能力を提示しないということなのか伺いたい。
- (要望) 横浜市としても、いろいろな機器の使用状況等を把握し、積極的に能力の提示を行うよう要望する。
- (14) 本市の他局の船舶や車両を水素など次世代エネルギーとLNGの燃料に変更すべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (15) 市内地元企業等と産官学連携のもと、先駆的な水素エネルギー利用技術開発事業を推進し、他港の見本となるべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (要望) 最終的には都市部への広がりを含めて検討するよう要望する。

## 2 LNGバンカリング拠点形成と水素など次世代エネルギーとの棲み分けについて

- (1) LNG船舶が増えるような取組を行うべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (2) バンカリング船だけでなく、海岸線沿いにLNG貯蔵タンクを設けて、受け入れと払い出し設備を建設するべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (3) 港の他の設備にもLNGを使用できるように取り組むべきと考えるが、見解について伺いたい。
- (4) 船舶燃料の水素など次世代エネルギーとLNGとの棲み分けについて伺いたい。
- (5) 拠点形成の取組状況と見通しについて伺いたい。

## 3 豊かな海づくりの活用について

- (1) 山下公園前の海域で実施された豊かな海づくりで得られた成果を次の計画にどのように生かされるのか伺いたい。
- (2) 整備に向けた検討状況でCO<sub>2</sub>の削減目標をどのように定めているのか。また、CO<sub>2</sub>削減の成果をどのように判定しているのか伺いたい。
- (3) 整備後の活用策について伺いたい。
- (要望) 藻場・浅場は、温暖化対策統括本部を中心に力を入れている、ブルーカー

ボン事業の舞台にもなる。横浜市が目指す2030年のSDGs達成、さらにはその先の2050年の脱炭素社会の実現に寄与する取組として、着実に取り組んでいただくことを期待する。

#### 4 新型コロナウイルス感染症対策の取組と要望について

(1) 国際クルーズが再開された場合の局内の体制について伺いたい。

(2) 国際クルーズにおける感染症対策について伺いたい。

(要望) 横浜港の賑わいに欠かせない国際クルーズが再開する際にも、しっかりと感染症対策を行っていただきたい。

(3) 使用料の減免や免除などを行うべきと考えるが、見解について伺いたい。

(要望) 経済面の対策を図る観点から、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の皆様に対しては、港湾局としても引き続き支援の取組を進めていただきたい。

(4) 海づり施設における増加する利用者への対応について伺いたい。

(要望) 観光や物流、そして市民の憩いの場である横浜港において、港湾局が関係機関と連携しながら、しっかりと新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安全・安心な港づくりを実現していただくよう要望する。

#### 5 港湾局における人材育成の取組

港湾局における技術の伝承等について、伺いたい。

(要望) 横浜港が地元経済を支え、市民生活を豊かにする総合港湾として発展していくためには、本市が果たすべき責任は今後ますます大きくなっていく。ぜひ、港湾行政に貢献できる人材を積極的に育成していただくことを要望する。

1 金沢区福浦・幸浦地区の護岸復旧について

（１）福浦・幸浦地区の護岸復旧工事の進捗状況について伺いたい。

（２）今後の整備スケジュールについて伺いたい。

（要望）引き続き、着実な整備を推進していただくようお願いしたい。

（３）護岸上部の整備に向けた整備のイメージについて伺いたい。

（４）ごみや迷惑駐車に対応について伺いたい。

（５）実現に向けた課題について伺いたい。

（要望）多くの検討すべき課題とともに、コロナ禍により大変厳しい予算確保の問題もあると思うが、来年度中にこれらの課題を解決し、護岸の復旧後に、引き続き速やかに海づり施設の整備工事に着手できるよう、事業化していただくことを要望する。

2 市民に開かれた漁港の改修について

（１）漁港施設の改修の進捗状況について伺いたい。

（２）賑わい施設の整備に向けた検討状況について伺いたい。

（３）賑わい施設の整備の考え方について伺いたい。

（要望）引き続き議論を重ね、市民に開かれた漁港を象徴する魅力あふれる施設としていただきたい。

（４）漁港の再整備後の管理方法について伺いたい。

（要望）漁業者の経験とともに、他の漁港の事例にもあるような新たなノウハウを活用していくことが、魅力的で効率的な管理体制の構築に繋がるため、漁業者との闊達な議論や他事例の研究を踏まえた十分な検討をお願いしたい。

（５）今後の整備スケジュールについて伺いたい。

（要望）市民に開かれた漁港は、横浜に新たな魅力をもたらす貴重な観光資源となり、地域の活性化にもつながるものと確信している。現場の漁業者の方々の意見・アイデアもしっかりと取り入れながら、着実に取組を進めていただく

ようお願いしたい。

### 3 本牧海づり施設の復旧工事について

(1) コロナ禍における施設の運営状況について伺いたい。

(2) 本牧海づり施設復旧の現状について伺いたい。

(3) 施設復旧の具体的な考え方について伺いたい。

(4) 施設復旧工事のスケジュールについて伺いたい。

(要望) 海づり施設は、海洋との出会いの場、環境教育の場、親子の触れ合いの場であることはもちろん、海洋都市のブランドを高める、横浜の大切な財産である。復旧工事を着実に進めていただき、一日も早い本格営業の再開を要望する。

### 4 新本牧ふ頭の整備と豊かな海づくりについて

(1) 工事中の海の環境への影響についてどのように監視していくのか伺いたい。

(2) 生物共生型護岸の整備内容と効果について伺いたい。

(要望) せっかく整備される、生物豊かな護岸であるため、ぜひ市民の皆様にも親しめるものとしていただきたい。

(3) 生物共生型護岸をどのように活かしていくのか伺いたい。

(4) 横浜港における藻場・浅場整備の考え方について伺いたい。

(5) 豊かな海づくりのための財源について伺いたい。

(要望) 港湾整備にあたっては、今後は環境への配慮も国際競争力を高める、重要な要素となっていく。最新鋭の物流機能の整備はもちろん、海の環境改善も持続的に行いながら、着実に事業を進めていただくよう要望する。

### 5 クルーズポートの復活について

(1) 令和2年11月の日本船クルーズ再開までの取組について伺いたい。

(2) 横浜港独自の感染症対策について伺いたい。

(3) 横浜港における更なる感染症対策について伺いたい。

(4) クルーズ船の感染症対策やクルーズの魅力を伝えるプロモーション活動につ

いて伺いたい。

(要望) アフターコロナの経済活性化のためには、観光を回復し、再び活気のあるものにすることが不可欠である。国際クルーズも含めた本格的なクルーズポートの復活に向け、しっかりと、そして着実に取組を進めていただくようお願いしたい。